

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立旭小学校

① 学習指導案 学校指定様式可

プログラム	No.7 「看板からまちの風景を考える」
単元名 (70分間)	「マンホール調査隊～デザインマンホールの面白さを皆に伝えよう～」
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺にあるマンホールが本校の先輩によってデザインされたことを知り、市民としてまちの景観づくりに関わることができる社会構造を知るとともに、行政への参画意識を高める。 ・まちを何度も歩くことを通して普段見過ごしているまちの景観を意識化し、理解を深めるとともに、自分たちが住むまちについての愛着をもつ。 ・外部組織と関わることを通して、新たに知ったことや学んだことを今後の生き方に活用しようとする心情を育てる。 ・学級全体での合意形成を経てデザインを決定、表現する過程を通して、学級集団の価値を再発見する。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校周辺や地域のマンホールについて、実物を探して調べる。 2 マンホールが景観として重視されていることを理解し、まちの行政に関する理解を深める 3 マンホールについての発見から、どのような活動をすべきかの合意形成を図る 4 オリジナルマンホールデザインを決定し、他者と関わって制作の実現を目指す 5 住んでいるまちのよさを再認識し、まちへの愛着を深めるとともに、学んだことを表現（発信）する。
参考資料 準備品 実施場所等	<p>【参考資料】 教師が提示する特徴的なマンホールの写真</p> <p>【準備品】 タブレット端末、筆記用具、簡単な絵地図、バインダー</p> <p>【場所】 学校周辺（視点を広げ、鶴見区、横浜市へ）、 体験学習先（静岡県御殿場市）、教室、関係機関等</p>

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
8	<p>「特徴的な“マンホールを探そう”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺を歩きながら、特徴的なマンホールを見つける。 ・それぞれが見つけた“マンホール”について、学級内で紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が提示するマンホール写真をきっかけに、周辺のマンホールを調べる。 ・周辺だけでは数種類しか見つからない。次時までに時間を空け、生活圏での発見を含めて探すようにする。 ・タブレット操作上の留意点を確認する。 ・見つけた“マンホール写真”を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲（観察） ・コミュニケーション力（観察） ・自己決定力（観察および取組）
10	<p>「見つけたマンホール以外の種類がないか、探そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用するなどし、横浜市全域に範囲を広げて探す。 ・関係機関として土木事務所や都市整備局を導き出し、直接質問して疑問を解 	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事や家族で出かけた際の情報、インターネットでの検索等を含めて探す。 ・土木事務所が管轄であることに結び付けるように、複数のヒントを提供する。 ・自分たちオリジナルのものができないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定力（観察および成果物） ・活動の意欲（観察） ・コミュニケーション力（観察等）

	<p>決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちに制作可能かどうかを問い、その回答を得る。 	<p>という発想を拾い、学級としての学習問題にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との接点では相手意識をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤(観察等) ・表現力(観察等) ・自己肯定感(振り返り記録) ・表現力(観察) ・自己決定力(観察および成果物) ・活動の意欲(観察) ・コミュニケーション力(観察等) ・試行錯誤(観察等)
10	<p>「御殿場マンホールカードをゲットしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御殿場宿泊体験学習でマンホールカードをもらいに行けないか調べる。 ・マンホールカードを配っている施設に直接電話をして交渉をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホールカードをもらってきた児童を話題に挙げ、マンホールカードの存在を周知し、興味をもてるようにする。 ・行く際に確認すべきことを自分たちで調べたり、直接施設に子ども達が電話したりすることで、「自分たち(子ども達)」だけ進めてきた実感をもてるようにする。 ・達成感を共有し、地域そして学級への愛着をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現力(観察) ・自己決定力(観察および成果物) ・活動の意欲(観察) ・コミュニケーション力(観察等) ・試行錯誤(観察等)
20	<p>「5年2組マンホールランド～みんなでマンホールマスターになろう～」開店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたマンホールについて詳しく調べる。 ・分かったことを図鑑にまとめる。 ・あさひまつりに図鑑を展示するとともに、マンホールの魅力についてたくさんの人伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑を作ることを通して、各地域にあるデザインマンホールに込められている意味を見つけ、地域の特色を含めてまとめることができるようにする。 ・調べたことをもとに、クイズや迷路等の遊び要素のある出し物やいままでの軌跡がわかる動画を作成して相手意識をもって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現力(観察) ・自己決定力(観察および成果物) ・活動の意欲(観察) ・コミュニケーション力(観察等) ・試行錯誤(観察等) ・自己肯定感(振り返り記録)
20	<p>「5年2組オリジナルのマンホールを制作しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインを決めるための話し合いをもつ ・合意形成を図り、デザインを決定する。 <p>(マンホール完成は5月以降の見込み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・費用が自己負担である問題を解決するために、校長やPTAなどに交渉するなど、資金繰りの方法についてアイデアを出し合う。 ・今まで調べてきたデザインマンホールの特徴から、旭小学校の特色について考えを出し合い、マンホールのデザインに生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現力(観察) ・自己決定力(観察および成果物) ・活動の意欲(観察) ・コミュニケーション力(観察等) ・試行錯誤(観察等) ・表現力(観察)

② 事業実施報告書詳細

第1小单元 「特徴的なマンホールを探そう」

教師が今まで見つけてきたデザインマンホールをクイズ形式で示すと、子どもたちは今まで気にしてこなかったマンホールというものに興味を示した。クイズで出したマンホールがどこのマンホールなのか、さっそく都道府県の特徴を調べ、導き出そうとすることももいた。今まで気にしたことがなかった子どもが多かった分、クイズが終わるとすぐさま「外にいったマンホールに絵が描かれているか見に行きたい」「学校の周りに何種類あるか知りたい」という意欲をもって学校の周りの探検を行い、タブレットを用いてマンホー

ルを調べた。普段見慣れたものにも魅力が隠れていることを知ったり見つけたマンホールを伝え合ったりする活動を行った。



第2小单元 「見つけたマンホール以外の種類がないか、探そう」

夏休みに入るタイミングであったため、各自旅行や帰省、お出かけなどをした際に子ども達はマンホールを探し、写真を撮影してきた。自力でデザインマンホール見つけれなかった子どもは、学年を超えて校内の教職員にインタビューをして、各地のデザインマンホールを集めることができた。

また、ある日、学校の周りでマンホールの撤去交換作業をしていることが分かり、急いで現場に向かい、撤去されている様子を見学することができた。さらに、作業をしている土木事務所の方にインタビューをしてマンホールについての知識を広げることができた。



第3小单元 「御殿場マンホールカードをゲットしよう」

御殿場宿泊体験学習での宿泊先の近くに「御殿場マンホールカード」を配布している施設があることに気が付いた児童は、さっそく校長に交渉。「引率する副校長に許可をもらえれば行ってもいい。」とのことで、副校長にも交渉をした。バスが止まるところの確保ができるのか等いくつかの問題をいただき、解決に向けて話し合ったり、自分たちが実際に電話で交渉をしたりした。最終的に、本来のルートと5年2組のみ変更し、実現することができた。

※校長・副校長とは、児童が相談のために尋ねることを事前に打診し、担任とその回答について協議を行っていた



第4小单元「5年2組マンホールランド～みんなでマンホールマスターになろう～開店」

たくさんのデザインマンホールがあることや、それぞれのマンホールに描かれているデザインに込められた思いや意味があることに気付いた子ども達は、それを他の人達にも伝えたいという思いをもち始めた。あさひまつりが開催されることと繋げて、「あさひまつり（※）のお客さんにマンホールの魅力をゲームなどで伝えたい」「マンホール図鑑を作って見つけたマンホールを紹介したい」「探していたマンホールを見つけたときの喜びを味わってほしい」「マンホールカードの存在を知ってほしい」と様々な声が出た。そこで、実際に行ったことやインタビューしたこと、調べたことをもとに、低学年から高学年、大人までくるといことで相手意識をもって準備を進めることができた。あさひまつりを終わると満足げな子ども達の様子であった。

※あさひまつり＝全校で取り組むPTA主催のイベントで、今年度の場合、5・6年生が学級ごとに学習してきたことを体験的な場を設定して発表するブースを設定した。



第5小单元「5年2組オリジナルのマンホールを制作しよう」

あさひまつりを通してマンホールの魅力を伝えてきた子ども達だが、様々なマンホールを見てきた子どもは、他にできないことはないか考えるようになった。そこで出てきたアイデアが、オリジナルマンホール制作だった。そもそも「作れるのかな」というところから始まり、「旭小学校だけのオリジナルのものにしよう」「6年生が総合で今年作ってくれた学校公式キャラクターを使えないかな」「旭小学校といえばなんだろう」など、考えを巡らせ、最終的には、6年生に承諾を得て公式キャラクター「あさひの丸」をデザインに加えることを許可され、その周囲に「窓から見える富士山」「校章」「桜」「仲良しの像と池」をモチーフにするデザインに決まった。

(製造業者との交渉の結果、マンホール完成は5月以降の見込みになっている)

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

「好きなもの紹介」という形からの導入を行った。その過程、回ってきた教師の出番でデザインマンホールをクイズ形式で紹介したところ、子ども達が興味をもち、活動を進めていくことを決めた。普段見慣れた場所でも、見方を変えると面白いものに見えたり、美しいものが広がっていたりすることに気付くことができるようにした。教師が指導しすぎず、自分たちで問題を見つけ、解決に向けて様々な人とかかわりをもって解決できるよう心がけた。そして、自分たちで進めた・できたという達成感を得られるよう心がけた。

(2) 実施にあたり苦労した点

コロナ禍ということもあり、自分たちで夏休み中にデザインマンホール探すということは、家庭の事情で難しい児童も少なくなかった。学校行事や校外学習に行った際に自然と路面を注視して探したり、夏休み前に旭小学校の教職員にお願いをして、写真を撮ってきてもらい、それについてインタビューをして調べたりするなどして、カバーした。

(3) 児童の反応

あさひまつりに向けては、ブースを訪れる他学年の子ども達など、相手を意識したことによって、分かりやすい言葉でまとめようとしたり、レイアウトを工夫したりし、表現すること自体を楽しんでいた。マンホールのデザイン創作過程では、様々な角度の絵を描き、どれが一番魅力的か検証したりするなど試行錯誤しながらも、景観として魅力のあるマンホールづくりを楽しんで行っていた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

担任である私自身がもともとマンホールに興味があり、学校の周りにデザインマンホールがあることも気になっており、いつかは題材にしたいと考えていた。一方で子ども達が、マンホールに対してどれだけ興味をもつのか、一担任がマンホールを作るというところまでたどり着けるのかという不安もあり、実現できないものと躊躇していた。今回、取り組んでみて、子ども達が思っていたよりも興味をもって臨んでくれたことがうれしかった。いままであきらめてきたものでも、材としての可能性が十分にあることを学んだ。また、子ども達が様々な問題を解決しようと深く考える姿をみて、「子ども達が考える」時間をいままでも以上に大切にしたいと感じた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

教師自身が「総合的な学習の時間」の進め方について、見通しをもつことが難しかったため、学習のスタートが遅れてしまった。しかし、マンホールを材に取り挙げたことで、景観というものをより身近に感じられるようになっていた。

また、単元のスタートが2～3か月早ければ、年度をまたがずに活動の終末まで進められたかもしれない。他機関との関わりを含む場合の見通しをもって取り組むことが重要であると感じた。